

転職サービス「doda（デュダ）」が「転職市場予測 2019 下半期」発表

2019 年下半期（7月～12月）の転職市場

～2年ほど続いた求人数の増加トレンドに変化の兆し。求人増加ペースが緩やかに～

総合人材サービス、パーソルグループのパーソルキャリア株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：峯尾太郎）が運営する転職サービス「doda（デュダ）」 < <https://doda.jp> > は、「転職市場予測 2019 下半期」を発表しましたのでお知らせします。doda サイト内で公開している記事では、2019 年下半期（7月～12月）の転職市場を14の業界・職種に分けて、動向の予測と注目の職種を紹介しています。

※ 詳細はdodaサイトで公開中 <https://doda.jp/guide/market/>

2019年下半期（7月～12月）の転職市場全体としては、求人数の増加ペースが緩やかになりそうです。全14分野のうち「増加」が5分野、「ほぼ変わらない」が5分野、「やや減少」が4分野と見込んでいます。

14の業界・職種で求人数の動向は？



■分野によって事業会社とアウトソーサーのそれぞれに求人ニーズが分かれる

ここ2年ほど、求人数の予測は「増加」が過半数を占めていましたが、今回は「増加」「変わらない」「減少」が3分の1ずつで拮抗する状況となり、求人数の増加ペースが緩やかになるでしょう。背景として、企業は例年年末に向けて新規の人材募集を控える傾向があることや、米中貿易摩擦の影響を企業が様子見していることがあげられます。しかし、すでに過去最高水準の求人数であるため、「変わらない」と予測しているケースもあります。そのため、求人の増加ペースは緩やかになりますが、転職市場全体の求人数は現在と同水準を維持する見込みです。

2019年下半期は、特定の業界が求人を牽引するのではなく、分野によって事業会社とアウトソーサーのそれぞれに求人ニーズが分かれそうです。従来、「定型化した業務は外注し、専門的な業務は自社で行う」ことが一般的でしたが、そうした状況にも変化が見られます。「IT・通信」「法務」「企画・マーケティング」「クリエイティブ」では、外注していた業務を内製化する動きがあり、事業会社側に求人ニーズが発生しそうです。これは、企画から実行までのスピードアップを図るとともに、社内に業務の知見を蓄積することを狙いに行っています。対して「営業」「人事」「経理」「事務・アシスタント」「メディカル」は、専門のアウトソーサーがサービス範囲を拡大する傾向があり、アウトソーサー側に求人ニーズが出ると想定されます。(doda編集長 大浦 征也)

■ 14の分野別に求人動向を予測

01. 営業 < <https://doda.jp/guide/market/006.html> >

営業職に求められるのは「企画提案力」。業界を問わず活躍できるスキル習得がカギ

02. 人事 < <https://doda.jp/guide/market/007.html> >

人事系のあらゆる業務領域で求人が増加。労務では年末調整に向けたニーズも

03. 経理 < https://doda.jp/guide/market/007_1.html >

経理の転職チャンスは7月～9月。税務の経験者を求める事業会社の求人も増加中

04. 法務 < https://doda.jp/guide/market/007_2.html >

法務は若手・ベテランとも豊富な求人が選べる転職の好機。弁護士求人も大幅増

05. 企画・マーケティング < <https://doda.jp/guide/market/008.html> >

広告代理店、事業会社ともにWebマーケを強化。ビジネスモデルの変化で営業企画も注目

06. クリエイティブ < <https://doda.jp/guide/market/011.html> >

事業会社も内製化のためにクリエイティブ職を求め、そのニーズは細分化傾向に

07. IT・通信 < <https://doda.jp/guide/market/001.html> >

ITエンジニアの求人ニーズは高いまま。中でもRPAコンサルや品質管理は要注目

08. 電気・機械 < <https://doda.jp/guide/market/002.html> >

過熱気味の求人増加は一段落。モノづくりのサービス化に向けて依然、採用意欲は旺盛

09. 化学・素材 < <https://doda.jp/guide/market/012.html> >

化学系エンジニアは即戦力の採用へ徐々にシフト。経験を活かせる職種を柔軟に検討しよう

10. 建築・土木 < <https://doda.jp/guide/market/003.html> >

新築からストックへ。アナログからITへ。“変わる”建設業界の新たな求人ニーズに注目

11. 販売・サービス < <https://doda.jp/guide/market/009.html> >

販売・サービスの求人は引き続き豊富。中食、携帯販売、婚活サービスに注目

12. 金融 < <https://doda.jp/guide/market/004.html> >

例年求人が活発化する下半期、IT系・企画職の採用を中心に緩やかに増加

13. メディカル < <https://doda.jp/guide/market/005.html> >

「医療×IT」「医療×人材」の領域でさらに採用ニーズ高まる。アウトソーシング企業でも求人が増加中

14. 事務・アシスタント < <https://doda.jp/guide/market/010.html> >

事務の求人は9・10月と12月に増加。ビジネスに貢献する意識が転職成功のカギ

■解説者プロフィール doda編集長 大浦 征也（おおうら せいや）



2002年、株式会社インテリジェンス（現社名：パーソルキャリア株式会社）入社。
 人材紹介事業に従事。法人営業として企業の採用支援、人事コンサルティング等を経験した後、キャリアアドバイザーに。転職希望者のキャリアカウンセリングやサポートに長年携わる。担当領域は多岐にわたり、これまでに支援した転職希望者は10,000人を超える。
 その後、キャリアアドバイザーの総責任者、法人営業部隊も含めた地域拠点の総責任者などを経て、2017年より現職。社外にてJHR（一般社団法人人材サービス産業協議会）キャリアチェンジプロジェクト、ワーキンググループメンバー、SHC（公益財団法人スポーツヒューマンキャピタル）理事にも名を連ねる。

■「doda」について < <https://doda.jp> >

「doda」は、「はたらく今日が、いい日に。」をスローガンに、転職サイトや転職エージェント、日本最大級のdoda転職フェアなど、各種コンテンツで転職希望者と求人企業の最適なマッチングを提供しています。

■パーソルキャリア株式会社について < <https://www.persol-career.co.jp/> >

パーソルキャリア株式会社は、パーソルグループの「リクルーティングセグメント」中核会社として、転職サービス「doda」やアルバイト求人情報サービス「an」をはじめとした人材紹介、求人広告、新卒採用支援等のサービスを提供しています。2017年7月より、株式会社インテリジェンスからパーソルキャリア株式会社へ社名変更。グループの総力をあげて、労働・雇用の課題の解決を目指します。

■「PERSOL（パーソル）」について < <https://www.persol-group.co.jp/> >

パーソルは、2016年7月に誕生した新たなブランドです。ブランド名の由来は、「人は仕事を通じて成長し（PERSON）、社会の課題を解決していく（SOLUTION）」。はたらく人の成長を支援し、輝く未来を目指したいという思いが込められています。

パーソルグループは、人材派遣サービス「テンプスタッフ」、転職サービス「doda」やアルバイト求人情報サービス「an」をはじめとし、ITアウトソーシング、設計開発にいたるまで、国内外の幅広い企業群で構成されています。グループのビジョンである「人と組織の成長創造インフラへ」を実現するために、労働・雇用の課題の解決に総合的に取り組んでいます。